

▽ 吉浜 忍 教授 YOSHIHAMA, Shinobu



学 科:社会文化学科

担当科目:歴史学Ⅰ・Ⅱ、日本史、中学校社会科教育法・演習  
歴史学ゼミ(共通)

学歴等のプロフィール

①【主要学歴】②【学位】③【所属学会】④【主要な社会的活動】

①大阪教育大学 ②学士 ③歴史教育者協議会 ④新沖縄県史編集委員会副委員長 新沖縄県史出版計画検討委員会委員 新沖縄県史沖縄戦編専門委員会委員長 沖縄県戦争遺跡詳細確認調査委員会委員 那覇市文化財調査審議会委員 浦添市文化財調査審議会委員 南風原町文化財審議会委員長 豊見城市史編集委員会委員長 豊見城市史移民編専門委員会委員 南風原町史沖縄戦編専門委員会委員長 宜野湾市史編集委員会委員 宜野湾市史戦後資料編専門委員会委員長 与那原町史編集委員会委員長 南城市戦時資料編専門委員会委員長
--

教育活動等

主な教育活動	年月日	摘要
1. 教育活動・方法の実践例 ①歴史学Ⅰ・Ⅱ	2010年4月～3月	講義内容を理解させるために、資料を教材化。内容が凝縮されたビジュアル資料を盛り込んだプリントを毎時間3～4枚作成・配布。また実物資料も使い、歴史理解を深めさせている。

②日本史	2010年4月～3月	教職科目であるため、教材を視点にしたプリントを作成（毎時間3～4枚）し、講義にも発問を取り入れ、また実物教材（モノ教材）も使用。教育現場を意識して教えている。
③歴史学ゼミ	2010年4月～3月	共通科目のゼミであり、全学科から受講できる。「そこを掘れ、そこに甘き泉あれ」「歴史は現場にある」をキーワードに、地域の歴史の発見を目標にしている。そのために年間6回のフィールドワークを実施、教室での学びと歴史現場での学びを結合させている。
④中学校社会科教職ゼミ	2010年4月～3月	班をつくり、共同での教材研究・開発・作成・授業づくり、模擬授業の実施と批評会・反省会など多様な学びの場を意識的につくっている。
2. 作成した教科書、教材、参考書	2006年8月	沖縄戦と米軍基地から平和を考えることを目的に岩波書店から『DVDブックオキナワ』を共著で出版。
	2007年1月21日	沖縄の戦争遺跡を平和教育に活用させることを目的に沖縄県平和祈念資料館が企画して、ビジュアル版『沖縄の戦争遺跡』を沖縄時事出版から出版。
	2009年3月30日	宜野湾市の戦後初期の歴史を市民・県民に普及させる目的に宜野湾市教育委員会が企画して、ビジュアル版『宜野湾戦後のはじまり』を出版。
3. 学生支援活動		
①学科、ゼミ行事の支援活動	2010年	学科のMT（1年生宿泊研修）を企画・運営する2年生リーダーの指導。1年次バレー大会、教職ゼミの合宿やバレー大会の企画運営の指導を毎年行っている。
②日常的な支援活動	2010年	オフィスアワーの時間だけでなく、学生が気軽に来室できるように、日常的に研究室を開放。その結果、年間千数百名の学生が来室。学びや悩みの相談などを行っている。
4. 学外での教育活動		
①講演・講座	2009年1月23日	「沖縄の戦跡の現状と課題」をテーマに講演（日放労フォーラム）
	2009年6月27日	「宜野湾の戦世」をテーマに講演（宜野湾市教育委員会）
	2009年8月2日	「沖縄戦と戦跡保存」をテーマに講演（日本生活教育連盟夏季全国研究集会）

	2009年11月14日	「沖縄戦のはなし」をテーマに講演(千葉県立木更津高校修学旅行、大学入門講座)
	2010年5月22日	「南風原の沖縄戦」をテーマに講演(南風原町ガイド養成講座)
	2010年7月6日、7日	「沖縄の歴史と現実」をテーマに講演(大阪府立西成高校修学旅行、大学入門講座)
	2010年8月4日	「西原の沖縄戦をどう教えるか」をテーマに講演(西原東中学校職員研修)
	2010年12月22日	「沖縄戦における南風村民の戦死の実相」をテーマに講演(南風原町遺族会)
	2011年2月4日	「南部避難の実相」をテーマに講演(沖縄平和ネットワーク)
	2011年2月26日	「戦争遺跡と平和教育」をテーマに講演(一フィート運動の会)
	2011年2月27日	「久米島の沖縄戦」をテーマに講演(久米島郷友会連合会)
	2011年5月21日	「与那原の沖縄戦」をテーマに講演(与那原町)
	5, 教育改善活動	
①2010年度授業評価アンケート	2010年	講義科目である日本史、歴史学Ⅰ・Ⅱについての授業評価アンケートの結果は、本学の平均値より高いが、低い数値の項目については改善し、学生が理解できる講義をすることを心がけている。
②授業改善計画書の提出	2010年	指定科目である一年生ゼミの「授業改善計画書」を提出。改善点や今後有効的だと思われる点を、系統的・実践的に取り組みたい。

## 研究業績等

【 主要論文及び主要著書 】(平成16年度～22年度)

- 2004年 「沖縄作戦における軍事施設の現在」  
(沖縄国際大学社会文化学会『社会文化研究 第7巻第1号』)
- 2004年 「沖縄の忠魂碑の調査・研究」(沖縄国際大学南島文化研究所『南島文化 第26号』)
- 2004年 「『陸軍病院壕』保存活用の取り組み」(群馬評論社『群馬評論 第99号』)
- 2005年 「宮古地区の沖縄戦」  
(沖縄県埋蔵文化財センター『沖縄県戦争遺跡詳細分布調査宮古諸島編』)
- 2005年 「『黒い壁』の保存と文化財指定」(草土社『沖国大がアメリカに占領された日』)
- 2005年 「地域の戦争体験・戦争遺跡の掘り起こし運動」(法律文化社『オキナワを平和学する』)
- 2005年 「南風原陸軍病院壕の町文化財指定から10年」  
(戦争遺跡保存全国ネットワーク『平和戦争遺跡』21)

- 2006年 「満州」(沖縄県南風原町『ふるさと離れて 南風原町史第8巻 移民・出稼ぎ編』)
- 2006年 「ヒトとモノが語る沖縄戦」(全国保険団体連合会『月刊保団連 No.907』)
- 2006年 共著『沖縄戦と米軍基地から平和を考える』(岩波書店)
- 2007年 「強制土地接収」「島ぐるみ土地闘争」  
(琉球新報社『アメリカ世から大和世へ 那覇市史通史篇第3巻』)
- 2007年 「次世代への沖縄戦継承の秘策はあるのか」  
(沖縄県歴史教育者協議会『歴史と実践 第28号』)
- 2007年 「戦争遺跡にみる沖縄戦」(沖縄時事出版『沖縄の戦争遺跡』)
- 2008年 「証言からみる戦後の宜野湾」「飛行場北」「飛行場南」「飛行場東」「飛行場南」  
(宜野湾市教育委員会『宜野湾市史 八 資料編七 戦後資料編I』)
- 2008年 「沖縄県における戦争遺跡の保存活用」  
(沖縄国際大学社会文化学会『社会文化研究 第11巻第1号』)
- 2009年 「解説 戦後初期の宜野湾」(宜野湾市教育委員会『宜野湾戦後のはじまり』)
- 2009年 「日中戦争」「強化される戦時体制」「第三十二軍の編成と沖縄配備」  
「アイスバーグ作戦と北中城」「捕虜と収容所」「マーフィン資料解説」  
(北中城役場『北中城村史 第四巻 戦争・論述編』)
- 2010年 「沖縄における御真影と奉安殿に関する文書資料」  
(沖縄国際大学南島文化研究所『久米島調査報告書(2) 地域研究シリーズNo.37』)
- 2010年 編著『沖縄陸軍病院南風原壕』(高文研)  
「近代沖縄の軍備—軍事施設を中心に」(沖縄県教育委員会『沖縄県史 各論編 第五巻 近代』)

## 研究分野

沖縄近現代史

## 【Eメール・ホームページ等】

Eメール shinobu@okiu.ac.jp

平成23年10月1日現在